

2025県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～調査へのご協力のお願い～

熊本県では、県政に県民の皆様のご意見を反映させていただくため、毎年、県民アンケート調査を実施しています。

この調査は、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様が感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内にお住まいの18歳以上の方々の中から、3,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

よりよい熊本づくりに向け、皆様の率直なご意見をよろしくお願いいたします。



©2010 熊本県くまモン

ご記入にあたってのお願い

- アンケートへの回答は、封筒の宛名の方ご本人がお答えください。
(ご本人での記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 次のいずれかの方法で令和7年7月3日(木)までにお答えください。

▼ 郵送で回答する

- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、この調査票に直接記入してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には回答されなくてもかまいません。
(回答していないところがあってもそのまま返送してください。)
- 記入がおわったら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和7年7月3日(木)までに、ポストに投函してください。

▼ インターネットで回答する

- 次のURL又は右のQRコードから回答フォームへアクセスし、令和7年7月3日(木)までに回答してください。

【URL : <https://logoform.jp/form/x4b6/1036143>】

☆☆☆☆インターネットで回答いただいた方限定☆☆☆☆
抽選で50名様に熊本県ノベルティグッズ詰め合わせを進呈します。

希望される方はインターネットでの回答後に次のURL又はQRコードから
令和7年7月3日(木)までに申請してください。

【URL : <https://logoform.jp/form/x4b6/1036152>】

▼ 回答フォーム



グッズ応募フォーム ▶

<お問い合わせ先>

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：森本（もりもと）、迎田（むかえた）

電話 096-333-2018（直通）

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

基本方針１ こどもたちが笑顔で育つ熊本

問１ あなたは「こどもまんなか熊本」の実現を進めるべきだと思いますか。（１つだけ○）

- １．強くそう思う
- ２．まあそう思う
- ３．どちらともいえない
- ４．あまりそう思わない
- ５．全くそう思わない

※ 「こどもまんなか熊本」とは、こども・若者がキラキラ輝き、県民が家庭や子育てに夢を持てる熊本であり、あらゆる立場の個人や組織、コミュニティ等が、こどもや若者・子育て当事者の視点に立ち、その最善の利益を第一に考えながら様々な取組みを実施する熊本のことです。

問２ あなたは日常生活において、こどもと接する機会がありますか。（１つだけ○）

- １．毎日
- ２．週に５日以上
- ３．週に３日～４日程度
- ４．週に１日～２日程度
- ５．月に数日程度
- ６．こどもと接する機会はない

※ 「こども」とは、あなたの実子や孫だけでなく、学校や地域等で接するこども全体を指します。

※ 「こどもと接する」とは、育児や仕事・ボランティア等でこどもと接する場合に限らず、地域のこどもと挨拶を交わす等、幅広い場面を想定しています。

問３ あなたは、ワーク・ライフ・バランスの確保が身の回りで進んでいると思いますか。（１つだけ○）

- １．そう思う
- ２．まあそう思う
- ３．どちらともいえない
- ４．あまりそう思わない
- ５．全くそう思わない

※ 「ワーク・ライフ・バランス」とは、やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを指します。

問4 あなたが未婚の場合、あなたが現在未婚でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を、最大3つまで選んで下さい。

※現在結婚している方、又は過去に結婚したことがある方の場合、「1. 未婚でない」を選んで下さい。既に結婚する相手が決まっている場合は、「1 2. 既に結婚する結婚相手が決まっている」を選んで下さい。

1. 未婚でない
2. 結婚するにはまだ若すぎるから
3. 結婚する必要性をまだ感じないから
4. 今は、仕事（または学業）にうちこみたいから
5. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
6. 独身の自由や気楽さを失いたくないから
7. 適当な相手にまだめぐり会わないから
8. 異性とうまくつき合えないから
9. 結婚資金が足りないから
10. 結婚生活のための住居のめどがたたないから
11. 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
12. 既に結婚する相手が決まっている
13. その他（)

問5 あなたが、里親制度について知っていることは何ですか。

(あてはまるもの全てに○ ※10以外は複数選択可)

1. 里親になるための特別な資格は不要なこと
2. 里親になるために必要な研修があること
3. 未婚や子育ての経験が無くても里親になることができること
4. 実子がいても里親になることができること
5. 共働きの家庭でも里親になることができること
6. 短期間での受け入れもできること
7. 必ずしも、「里親＝養子縁組」ではないこと
8. 子どもを育てるために必要な生活費、教育費、医療費などが支給されること
9. 里親を応援するための支援機関があること
10. 里親制度について、内容はほとんど知らない

問6 熊本県では、「県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を共に創る～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～」という基本理念の実現に向けて策定された「くまもと新時代共創総合戦略」（以下、総合戦略という）の4つの柱に沿って施策を展開しています。

ここまでの設問は、柱の1つである「こどもたちが笑顔で育つ熊本」に関するものでした。

「こどもたちが笑顔で育つ熊本」の実現に向けた施策を展開できていると思いますか。（1つだけ○）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

～くまもと新時代共創総合戦略～

基本方針2 世界に開かれた活力あふれる熊本

問7 TSMC（JASM）の進出に伴い、どのような波及効果を実感していますか。（あてはまるもの全てに○）

1. ビジネスチャンスが拡大した
2. 求人が増加した
3. 賃金が上昇した
4. 旅行者（ビジネス・観光等）が増加した
5. 都市が発展して住みやすくなった
6. 特に効果を感じていない
7. その他（）

問8 あなたは、人材不足や担い手不足が深刻化していると感じていますか。（1つだけ○）

1. 感じている
2. やや感じている
3. どちらでもない
4. どちらかといえば感じていない
5. 感じていない

問 9 熊本県で暮らす外国人の方は年々増えています。外国人の方と、ともに地域で生活する社会について、どう思いますか。(1つだけ○)

1. 望ましい
2. やや望ましい
3. どちらでもよい
4. あまり望ましくない
5. 望ましくない

問 10 あなたは、公共交通機関をどのくらいの頻度で利用しますか。
(1つだけ○)

※「公共交通機関」には、バス、鉄道、路面電車、フェリー、タクシー等のほか、市町村が運行するコミュニティバスや乗合タクシー等を含みます。

1. 週に5日以上
2. 週に3～4日程度
3. 週に1～2日程度
4. 月に数日程度
5. ほとんど利用しない(年に数日程度以下)

問 11 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関のサービス内容について、どう思いますか。(1つだけ○)

※「サービス内容」とは、路線、ダイヤ、便数、運賃、及びこれらの情報提供等を指します。

※地域で複数の公共交通機関が運行している場合、その総合的な評価についてご回答ください。

※問10で「5. ほとんど利用しない」と回答された場合も、いずれかの選択肢にてご回答ください。

1. 満足(とても利用しやすい)
2. やや満足(利用しやすい)
3. どちらでもない
4. やや不満足(利用しにくい)
5. 不満(とても利用しにくい)

問 1 2 サービス内容が向上してほしいと思う公共交通機関はどれですか。
(あてはまるもの全てに○)

※「サービス内容」とは、路線、ダイヤ、便数、運賃、及びこれらの情報提供等を指します。

1. 路線バス
2. 鉄道
3. 路面電車
4. フェリー
5. タクシー
6. 市町村が運行するコミュニティバス、乗合タクシー等
7. その他 ()

問 1 3 あなたは、熊本県の農林畜水産物に誇りを感じていますか。
(1つだけ○)

1. 感じている
2. やや感じている
3. どちらでもない
4. どちらかといえば感じていない
5. 感じていない

問 1 4 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。
(1つだけ○)

※食育とは、食に関する知識や技術を身につけること。

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない

問 1 5 あなたは、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消(ちさんちしょう)」に関心がありますか。また、県内でできた農林畜水産物(または加工品)を購入(またはレストランなどで注文)していますか。(1つだけ○)

1. 地産地消に関心があり、なるべく県産農林畜水産物を購入している
2. 地産地消に関心はあるが、県産農林畜水産物にはこだわらない
3. 特に関心がない

問 1 6 あなたは、現在、販売されている農林畜水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。（1 つだけ○）

1. 全く不安はない
2. あまり不安はない
3. ある程度不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

※この質問は、問 1 6 で、選択肢 3・4 のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問 1 7 ある程度不安がある、もしくはとても不安があることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1. 輸入食品
2. 食品添加物
3. 残留農薬
4. 食中毒
5. 環境汚染物質（カドミウム、ダイオキシン等）
6. 遺伝子組換え食品
7. 偽装表示
8. 放射性物質
9. 健康食品

問 1 8 あなたは、この一年間に美術館、博物館等の文化芸術施設に行ったことがありますか。（1 つだけ○）

1. 県内施設に行った
2. 県外施設に行った
3. 県内・県外施設の両方に行った
4. 行かなかった

※この質問は、問18で選択肢2・4を選択された方のみにお尋ねします。

問19 美術館、博物館等の文化芸術施設に行かなかった理由、または県内施設に行かなかった理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1. アクセスが悪い（公共交通機関が不便等）
2. 以前行ったことがあるが、展示内容があまり面白くなかった
3. 以前行ったことがあるため、もう行かなくてよい
4. 開館日（時間）が自分の都合に合わない
5. 観覧料金が低い
6. 広告等を見たが展示内容に魅力を感じなかった
7. 他の余暇の過ごし方を優先する
8. 感染症等の感染予防のため
9. その他（ ）

問20 次世代を担う子どもたちの文化芸術活動の振興のために、どのような取組が必要だと思いますか。（3つ以内で○）

1. 子どもたちへの舞台芸術鑑賞の機会提供
2. 地域を超えた子どもたちの文化芸術活動による交流
3. 発表の場の提供
4. ホームページや各種SNS等による情報発信
5. 道具、衣装等への助成
6. 専門家（指導者）の派遣
7. その他（ ）

問21 あなたは、令和6年度（2024年度）に1日に30分以上運動やスポーツを実施した日数を全部あわせると、何日くらいになりますか。（1つだけ○）

※ウォーキング、散歩、自転車、キャンプ、登山、フィッシング、ひと駅歩き、階段昇降等、目的をもって楽しく体を動かした場合（レジャーや通勤・通学の場合も含む）も運動やスポーツを行っていると考えてください。

1. 週に5日以上（年251日以上）
2. 週に3日以上（年151日～250日）
3. 週に2日以上（年101日～150日）
4. 週に1日以上（年51日～100日）
5. 月に1日～3日（年12日～50日）
6. 3か月に1日～2日（年4日～11日）
7. 年に1日～3日
8. 令和6年度（2024年度）に運動やスポーツはしなかった
9. わからない

問 2 2 ここまでの設問は、総合戦略の柱の 1 つである「世界に開かれた活力あふれる熊本」に関係するものでした。「世界に開かれた活力あふれる熊本」の実現に向けた施策を展開できていると思いますか。（1 つだけ○）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

～くまもと新時代共創総合戦略～

基本方針 3 いつまでも続く豊かな熊本

問 2 3 あなたは、水資源をはじめとした環境保全についての県の取り組みに満足していますか。（1 つだけ○）

1. 満足している
2. やや満足している
3. どちらでもない
4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない

問 2 4 あなたは、水田でのお米づくりや環境にやさしい農産物を購入することで、地下水や土を育てていることを知っていますか。（1 つだけ○）

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

問 2 5 あなたは、「くまもとグリーン農業」が、化学肥料や化学農薬を減らした環境にやさしい農業の取組みであることを知っていますか。（1 つだけ○）

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

問 2 6 あなたが、ゼロカーボン社会の実現に向けて、CO₂（二酸化炭素）の排出量の削減のために取り組んでいることは何ですか。

（あてはまるもの全てに○ ※1 2以外は複数選択可）

1. 家の照明を LED 電球に取り換える
2. 地産地消を意識する
3. 宅配便は 1 回で受け取る
4. 不必要な使い捨てプラスチックはもらわない
5. 必要なものを必要な分だけ買う
6. 使用済み天ぷら油は捨てずに回収に協力している
7. 省エネ家電を選ぶ
8. 住宅を断熱化している
9. 電気自動車を選ぶ
- 1 0. 公共交通機関や自転車で通勤・通学する
- 1 1. 再生可能なエネルギーを選ぶ（太陽光発電、蓄電池、再生電力等）
- 1 2. 取り組んでいない

問 2 7 あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。（1 つだけ○）

1. 言葉の意味を知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
3. 言葉を聞いたことがない

問 2 8 あなたは、食品ロス削減を意識して、どのようなことを行っていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※9以外は複数選択可)

1. お店では使い切れる分だけ食材を購入することを心掛けている
2. 購入してすぐ食べる商品を、商品棚の手前から積極的に選んで購入している
3. 家で調理をする際、一度に食べきれる量だけ作っている
4. 家で調理をする際、食材の食べられる部分は使い切るように心掛けている
5. 冷蔵庫や保管庫での食材の保存方法、配置方法などを工夫している
6. 飲食店では、食べきれる範囲で注文している
7. 飲食店で食べ残しが出る場合には、ドギーバッグ(※1)等を利用し、持ち帰っている
8. 家庭で余っている食べ物を持ち寄り、フードドライブ(※2)活動に寄付したことがある
9. 何も行っていない
10. その他()

※1 ドギーバッグとは、客が食べ残した料理をつめて客が持ち帰るための袋や容器のこと。

※2 フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて必要とする支援団体に寄付する活動のこと。

※この質問は、問28で選択肢9を選択された方のみにお尋ねします。

問 2 9 何も行っていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 食品ロスの問題に関心がない
2. お店で商品を購入する際、食品ロス削減のためにはどのような購入の仕方をすればよいか分からない
3. 家で調理を行う際、食材をどのように調理すれば食品ロスを削減できるか分からない
4. 家で食品を管理する際、どのようにすれば食品ロスを削減できるか分からない
5. 飲食店を利用する際、どのような頼み方をすれば食品ロスを削減できるか分からない
6. その他()

問３０ あなたは、今後、人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する
2. 学校内外の人権教育を充実する
3. 人権課題に対応する専門の相談機関・施設を充実する
4. 人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する
5. 犯罪の取締りを強化する
6. 人権に関する情報の収集及び提供を充実する
7. 人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する
8. 国・市町村及び民間団体等との関係機関の連携を図る
9. わからない
10. その他（ ）

問 3 1 あなたは、ハンセン病が感染しにくい病気だということを知っていますか。
(1 つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問32 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、ハンセン病の患者さんや治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じますか。(1つだけ○)

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

問 3 3 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって職場や家庭、地域での役割を固定しようとする考え方についてどう思いますか。(1つだけ○)

1. 同感する
2. どちらかといえば、同感する
3. どちらかといえば、同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問 3 4 あなたは、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を知っていますか。（1つだけ○）

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

※ 熊本県では、障がいのある人に対する県民の理解を深め、障がいを理由とした差別をなくすことにより、障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指して「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を制定しています。

問 3 5 あなたは、ヘルプマーク（カード）を知っていますか。（1つだけ○）

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

※ ヘルプマーク（カード）は人工関節を使用している方、内部障がいや発達障がい、難病の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマークです。

問 3 6 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、障がいのある人に対する偏見や差別意識があると感じますか。（1つだけ○）

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

問 3 7 あなたが、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の例として知っているものは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 触手話
2. 要約筆記
3. 指点字
4. 音訳
5. コミュニケーションボード
6. 重度障がい者用意思伝達装置
7. 代用音声

※ 障がいのある人もない人も安心して生活ができる共生社会の実現のためには、手話や点字をはじめ多様な障がいの特性に応じたコミュニケーション方法を知り、障がいのある人の選択の機会が十分に確保されることが重要です。

熊本県では、手話が言語であることの普及や障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進を図り、全ての県民が障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指して、「熊本県手話言語の普及及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例」を制定しています。

問 3 8 あなたは、県の保健所や、県内の動物愛護センターから犬や猫を譲り受けることができることを知っていますか。

また、飼い犬・猫が迷子になった時、お住まいの地域の保健所や警察署に連絡（届出）することで、保護されているかを確認できることを知っていますか。

(それぞれに1つずつ○)

(譲り受けについて)

1. 知っている
2. 知らない

(保健所等への連絡（届出）について)

1. 知っている
2. 知らない

問 3 9 ここまでの設問は、総合戦略の柱の1つである「いつまでも続く豊かな熊本」に関係するものでした。「いつまでも続く豊かな熊本」の実現に向けた施策を展開できていると思いますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

基本方針４ 県民の命、健康、安全・安心を守る

問４０ あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※９以外は複数選択可)

- １．家具等の固定
- ２．水・食料・非常持出品等の備蓄・準備
- ３．県・市町村等のホームページ・防災メール等での気象情報などの収集
- ４．地域の危険箇所やハザードマップ（災害等発生時の危険箇所）・指定避難場所の確認
- ５．家族との連絡方法の確認
- ６．マイタイムライン（防災行動計画）の作成
- ７．自主防災組織などが行う防災訓練や防災講話、防災イベントへの参加
- ８．防災に関する資格の取得（防災士など）
- ９．何もしていない
- １０．その他（ ）

問４１ あなたが、風水害の際に、避難を検討するきっかけは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

- １．気象庁等から特別警報、土砂災害警戒情報、氾濫危険水位到達が発表されたとき
- ２．市町村がレベル５（緊急安全確保）を発表
- ３．市町村がレベル４（避難指示）を発表
- ４．市町村がレベル３（高齢者等避難）を発表
- ５．テレビ、ラジオのキャスター等による避難の呼びかけ
- ６．近所の人からの避難の呼びかけ
- ７．消防団、自主防災組織からの避難の呼びかけ
- ８．親族、家族等の近しい人からの避難の呼びかけ
- ９．SNSや防災アプリ等で発信された避難の呼びかけ

問 4 2 あなたは、ご自宅の地震に対する安全性の確保（耐震化）を行っていますか。
（1つだけ○）

○ご自宅が自己または家族所有の方

1. 建築もしくは購入当初から耐震性がある
2. 耐震化工事を実施済み（工事中又は工事予定を含む）
3. 耐震診断を行って、必要ならば、耐震化工事を行いたい

問 4 4 に
お進みく
ださい

4. 耐震診断を行うが、耐震工事を実施するかどうか分からない
5. 耐震性はない、もしくはあるか分からないが、耐震診断、工事とも現在のところ行う予定はない

問 4 3 に
お進みく
ださい

○ご自宅が自己または家族所有ではない方

そのまま
問 4 4 に
お進みく
ださい

※この質問は、問 4 2 で、選択肢 4・5 のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問 4 3 ご自宅の耐震化工事を行うかどうか分からない、もしくは行わない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）

1. 耐震化のために何から始めたらよいか分からないため
2. どのような業者に耐震診断、耐震化工事を頼んでよいか分からないため
3. 建替え予定のため
4. 耐震化工事を行う費用がないため
5. 自宅を長く活用する予定がないため
6. 現在耐震化について検討していないため
7. その他（ ）

問 4 4 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか。
（1つだけ○）

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

※ 整っていると思うか、思わないかについては、以下の視点等からご回答ください。

- ・ 休日や夜間に対応している医療機関が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 重篤な救急患者を受け入れる病院が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 最寄りの医療機関まで遠いと感じるか、近いと感じるか。

問 4 5 病院や診療所（医院・クリニック）でもらった処方せんを持って行くかかりつけ薬局・薬剤師を決めていますか。（1つだけ○）

1. 決めている
2. 決めていない

問 4 6 臓器提供意思表示カード等（運転免許証、マイナンバーカード等意思表示欄があるものを含みます。）について、あてはまるものをお選びください。（1つだけ○）

1. 自分の意思（提供する・しない）を記入している
2. 自分の意思（提供する・しない）を記入しており、身近な人に伝えている
3. 自分の意思（提供する・しない）を記入していない
4. 知らない

問 4 7 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。（2つ以内で○）

1. 高齢者の社会参加
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的な生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護（成年後見制度の利用促進、虐待防止等）
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他（ ）

問 4 8 あなたの身の回りにひきこもり状態の方はいますか。
（「いない」場合は1に○、「いる」場合は2～8であてはまるもの全てに○）

※「ひきこもり状態」とは、6か月以上、自宅にひきこもり、社会的参加を避けている状態（仕事をしていない、学校に行っていない、家庭以外の人との交流がない）の方を指します。

- | | |
|----------|------------|
| 1. いない | 2. 親 |
| 3. 兄弟姉妹 | 4. 子 |
| 5. 配偶者 | 6. いとこ等の親戚 |
| 7. 友人・知人 | 8. その他（ ） |

※この質問は、問48で選択肢2～8のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問49 そのひきこもりの方の年齢はいくつですか。
(複数人いる場合はあてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 15～19歳 | 2. 20～29歳 |
| 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65歳以上 | |

問50 あなたは、人生100年時代の充実に向けた体制作りが進んでいると感じますか。
(1つだけ○)

1. 感じている
2. やや感じている
3. どちらでもない
4. どちらかといえば感じていない
5. 感じていない

問51 あなたは、治安をよくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 防犯カメラや防犯灯の設置など犯罪が起きにくい環境の整備
2. こども見守りパトロールなど自主防犯活動の強化
3. 防犯機能付き電話機の整備など個人レベルでの「電話で『お金』詐欺」対策の実施
4. 交通ルールやマナーなど規範意識を高めるための交通安全教育の実施
5. ネット上の違法・有害情報の削除やサイバーパトロール
6. ご近所など地域社会における連帯意識の醸成
7. 就労支援など犯罪者への再犯防止対策の充実
8. 犯罪の厳罰化
9. 犯罪の徹底検挙
10. 警察官の増員
11. その他 ()

問 5 2 あなたは、自転車保険（自転車事故により相手の生命又は身体に損害を与えた場合に補償できる賠償責任保険）に加入していますか。（1 つだけ○）

※自動車保険や火災保険の特約として加入している場合も含まれます。（個人賠償責任特約など、名称は各社により異なります。）

※条例により、令和3年10月1日から、保険加入が義務化されています。

1. 自転車を利用しており、保険に加入している
2. 自転車を利用しているが、保険に加入していない
3. 自転車を利用しているが、保険に加入しているかわからない
4. 自転車を利用していない
5. その他（ ）

問５３ あなたは、地域の中で安全・安心な生活を過ごせていると感じますか。
(１つだけ○)

1. 感じている
2. やや感じている
3. どちらでもない
4. どちらかといえば感じていない
5. 感じていない

問 5 4 ここまでの設問は、総合戦略の柱の1つである「県民の命、健康、安全・安心を守る」に関係するものでした。「県民の命、健康、安全・安心を守る」の実現に向けた施策を展開できていると思いますか。（1つだけ○）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

県の広報媒体について

問 5 5 あなたが、県の施策・取組みを知るのに身近な媒体はどれだと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 県広報紙「県からのたより」
2. 県政広報テレビ「GO！くまモン☆ナビ」
3. 県政広報ラジオ「AM ふれあいくまもと」「FM 県庁ダイアリー」
4. 県からの新聞紙面広告（報道記事を除く）
5. 県ホームページ
6. SNS（エックス（旧ツイッター）、フェイスブック、ラインなど）
7. 報道
8. その他（

しあわせ実感度について

問 5 6 現在、あなたは幸せだと感じていますか。(1つだけ○)

1. 感じている 2. やや感じている 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば感じていない 5. 感じていない

問 5 7 幸せの構成要素を下図のA～Dで分類すると、あなたの幸せの全体を「10」点としたとき、A～Dの重要度（ウェイト）は、それぞれ何点になりますか。
0～10点の数字を1つ選んで、「○」をつけてください。
※選んだ数字の合計が「10」点になるようにお願いします。

しあわせ実感度

A 夢や希望を持てる 基盤がある

- ① 家族・友人関係
② 仕事関係
③ 教育環境
④ 子育て環境

B 地域への誇りがある

- ① 自然環境
② 歴史・伝統
③ 文化芸術・スポーツ
④ 地域社会・行政

C 経済的なゆとり、 心のゆとりがある

- ① 所得・消費
② 余暇の充実
③ 住まい
④ 豊かな食

D 健康や生活環境面で 将来に不安がない

- ① 心身の健康
② 生活環境の安全
③ 防災・治安
④ 交通環境

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	10	

A

+

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	10	

B

+

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	10	

C

+

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	10	

D

A+B+C+D=10点になるように、A、B、C、Dの枠の中から数字を1つずつ選んで「○」をつけてください。

例えば・・・A 3、B 2、C 3、D 2 ⇒合計10

A 1、B 5、C 1、D 3 ⇒合計10

問58 次の16の項目について、現在、あなたはどのように感じていますか。
(それぞれ項目について、1つだけ○)

	感じている	やや感じている	どちらでもない	どちらかと言えば 感じていない	感じていない
【家族・友人関係】 家族や友人は、あなたを理解し、支えてくれていると感じていますか。	1	2	3	4	5
【仕事関係】 今の仕事（パート・アルバイトや家事、ボランティア活動などを含む）に満足していると感じていますか。	1	2	3	4	5
【教育環境】 学びたいことを学べる環境が整っていると感じていますか。	1	2	3	4	5
【子育て環境】 子育てができる・したいと思える環境が整っていると感じていますか。	1	2	3	4	5
【自然環境】 地域の自然に誇りを感じていますか。	1	2	3	4	5
【歴史・伝統】 地域の歴史や伝統に誇りを感じていますか。	1	2	3	4	5
【文化芸術・スポーツ】 地域の文化芸術やスポーツに誇りを感じていますか。	1	2	3	4	5
【地域社会・行政】 地域社会とのつながりや行政との協働・連携があると感じていますか。	1	2	3	4	5
【所得・消費】 必要な所得が得られ、必要なモノやサービスを購入できていると感じていますか。	1	2	3	4	5

	感じている	やや感じている	どちらでもない	どちらかといえば 感じていない	感じていない
【余暇の充実】 十分な余暇が得られ、心のゆとりを感じていますか。	1	2	3	4	5
【住まい】 今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか。	1	2	3	4	5
【豊かな食】 さまざまな食を楽しむことができていると感じていますか。	1	2	3	4	5
【心身の健康】 こころやからだが健康だと感じていますか。	1	2	3	4	5
【生活環境の安全】 地域の生活環境や食べ物が安全だと感じていますか。	1	2	3	4	5
【防災・治安】 個人・地域・行政で災害や防犯に対する備えができていると感じていますか。	1	2	3	4	5
【交通環境】 車や公共交通機関などで安全・快適に移動ができる環境が整っていると感じていますか。	1	2	3	4	5

県 政 に 対 す る ご 意 見

県政全般について、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

基 本 項 目

あなたご自身のことについてお尋ねします。

1 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる市町村の番号に○をつけてください。

熊本市	1. 熊本市中央区 2. 熊本市東区 3. 熊本市西区 4. 熊本市南区 5. 熊本市北区	菊池	16. 菊池市 17. 合志市 18. 大津町 19. 菊陽町	八代	32. 八代市 33. 氷川町
				芦北	34. 水俣市 35. 芦北町 36. 津奈木町
宇城	6. 宇土市 7. 宇城市 8. 美里町	阿蘇	20. 阿蘇市 21. 南小国町 22. 小国町 23. 産山村 24. 高森町 25. 南阿蘇村 26. 西原村	球磨	37. 人吉市 38. 錦町 39. あさぎり町 40. 多良木町 41. 湯前町 42. 水上村 43. 相良村 44. 五木村 45. 山江村 46. 球磨村
玉名	9. 荒尾市 10. 玉名市 11. 玉東町 12. 和水町 13. 南関町 14. 長洲町				
鹿本	15. 山鹿市	上益城	27. 御船町 28. 嘉島町 29. 益城町 30. 甲佐町 31. 山都町	天草	47. 天草市 48. 上天草市 49. 苓北町

2 あなたは、熊本県に通算何年くらいお住まいですか。次のうちあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年～10年未満 | 7. 20年～30年未満 |
| 2. 1年～ 3年未満 | 5. 10年～15年未満 | 8. 30年以上 |
| 3. 3年～ 5年未満 | 6. 15年～20年未満 | |

3 あなたの性別は次のどれですか。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

4 あなたの年齢は次のどれですか。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 18～19歳 | 4. 40～49歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～69歳 | |

ご協力ありがとうございました